

# 1 各WGの協議状況

## 1.1 WG立ち上げの経緯

第7回幹事会(平成20年3月18日開催)において,様々な施策の実現に向けて,個々の課題を詳細に検討することを目的に,ワーキンググループ(WG)を組織することが了承され,現在4つのWGが積極的な検討を進めている。

## 1.2 各WGの主な目的

四条WG	三条細街路WG	河原町WG	物流WG
四条通の歩道拡幅をはじめ,四条通のあり方を検討	自転車対策,「人が主役のまちなか道路」など,三条通や細街路のあり方を検討	河原町三条交差点の改良,京都の「お入り口」三条通など河原町三条を起点とした地域のあり方を検討	歴史的都心地区における荷捌きのあり方を検討

# 1 各WGの協議状況

## 1.3 協議状況

### (1) 四条通WG

**四条通の歩道拡幅を中心とした今後の四条通のあり方について検討を行っている。  
今後、歩道拡幅実現に向けた課題の解決策について、詳細な検討を進める。**

#### 【四条通WGの構成メンバー】

京都大学大学院経済学研究科 岡田教授, 京都商店連盟中京東支部, 四条繁栄会, 高島屋, 大丸, 京都府旅館生活衛生同業組合, 京都信用金庫, 駐車場問題対策協議会, トラック協会, 京都乗用自動車協会, 京都府警, 京都市 (歩くまち京都推進室, 建設局)

#### 【開催状況と主な協議内容】

- 第1回 (平成20年 4月30日): 四条通の交通のあり方と問題点について協議
- 第2回 (平成20年 6月13日): 平成20年度方策展開(案)について協議
- 第3回 (平成20年 11月12日): 平成20年度方策展開(案)について協議
- 第4回 (平成21年 3月10日): 四条通歩道拡幅について協議,  
平成20年度施策について報告

# 1 各WGの協議状況

## 四条通歩道拡幅について

### 四条通道路空間再配分に関する基本コンセプト

#### 人が主役の道づくり・まちづくり

人が集い、楽しむための空間を創出し、歴史都市京都、環境都市京都のシンボルとして、風格と華やぎのある道路とする。

不要不急の自動車利用を抑制し、歩行者と公共交通優先のみち・まちをつくる。

日本三大祭の一つ「祇園祭」が催されることをコンセプトの中心に据え、世界に誇る道路を目指す。

具体的には、広幅員歩道 + 2車線道路を基本構成として、望ましい道路空間配分・共有方法を検討する。

# 1 各WGの協議状況

## 四条通歩道拡幅

### 歩道拡幅案（歩道を最大確保）

住民の安全、都市の継続的发展を支える道路機能を備えるため、緊急車両の通行、等を考慮した道路構造、荷さばき交通との共存」について検討  
限りある道路空間を共有するため、バス停構造」等について検討  
祇園祭は四条通のイメージの中心であるため、祭礼時への配慮もあわせて、フラットな空間創出のための工夫を施す  
“人が主役の道づくり・まちづくり”の基本コンセプトの下、緊急車両の通行、停車車両への対応を考慮した中で、

**可能な限り最大幅の歩道を確保」**する。

将来像



広幅員の歩道空間を安心安全で快適に歩く住民、来街者、観光客  
ゆっくりと人に遠慮しながら走る自動車

# 1 各WGの協議状況

## 歩道拡幅に関する課題

歩道拡幅の実現に向けた検討課題

- ・緊急車両の通行確保
- ・荷さばき交通との共存
- ・バス停構造
- ・タクシーベいのあり方
- ・祭礼時への配慮 (フラットな空間) と歩行者の安全性確保
- ・自転車問題
- ・交通量抑制

など

## 交通実態調査

四条通交通実態調査

- ・交差点交通処理調査
- ・旅行速度調査

物流実態調査

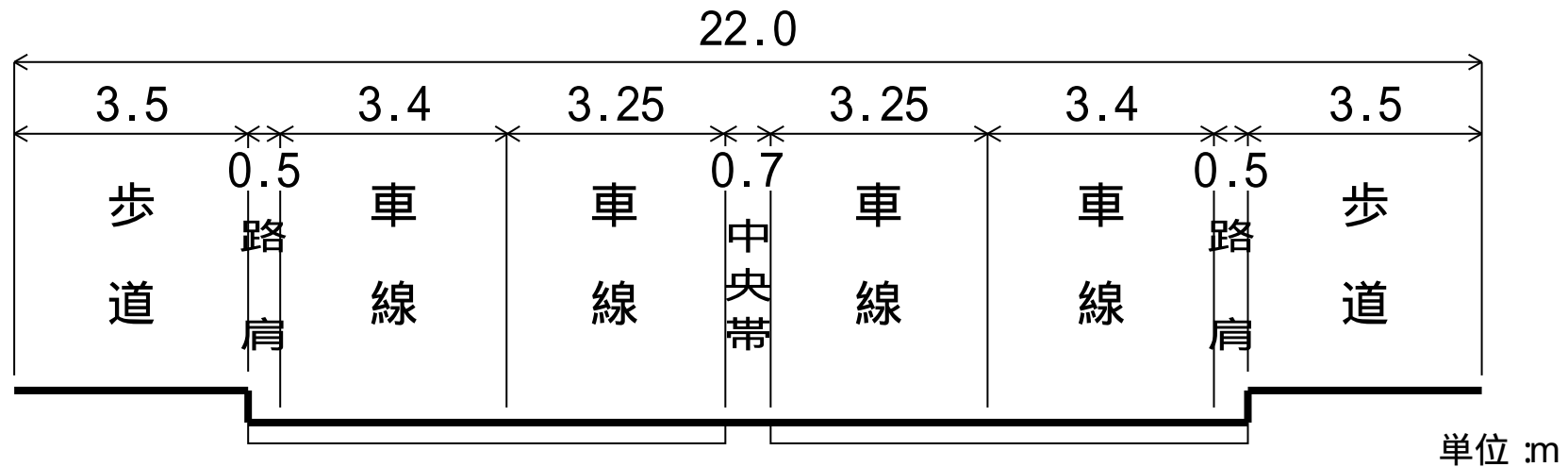
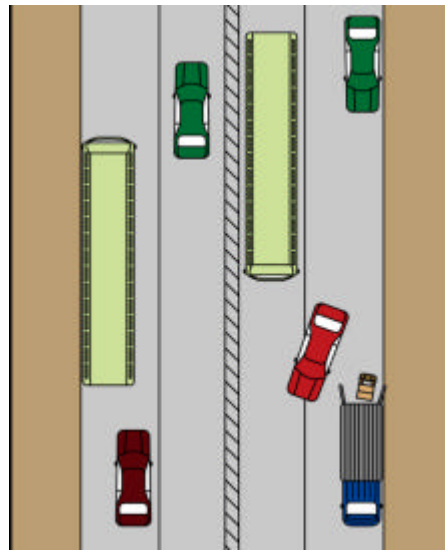
- ・路上荷さばき定点観測調査
- ・GPSによる車両観測調査

## 今後の検討内容

- 四条通の交通状況に関する詳細な検討を行う
- 四条通の歩道拡幅に向けた課題の解決策を検討する

# 1 各WGの協議状況

## 四条通の現状 (横断構成)



# 1 各WGの協議状況

## (2) 三条細街路WG

小規模分散型のまちかど駐輪場の設置などの放置自転車対策や、「人が主役のまちなか道路」に関する検討を行っている。

今後は、「人が主役のまちなか道路」の仕組みづくりについて検討を行う

### 【三条細街路WGの構成メンバー】

歩いて暮らせるまちづくり推進会議,京のアジェンダ21フォーラム,京の三条まちづくり協議会,京都府建築士会,楽洛まちぶら会,京都市(歩くまち京都推進室,都市づくり推進課,中京・下京区役所)

### 【開催状況と主な協議内容】

- 第1回(平成20年 5月22日):まちかど駐輪場や自転車マナー向上について協議
- 第2回(平成20年 6月17日):まちかど駐輪場や放置自転車対策について協議
- 第3回(平成20年 6月30日):まちかど駐輪場について協議
- 第4回(平成20年10月14日):まちかど駐輪場や自転車利用者啓発について協議
- 第5回(平成20年11月18日):平成20年度方策展開(案)について協議
- 第6回(平成21年 2月19日):自転車対策に関する取組状況の報告,  
「人が主役のまちなか道路」について協議

# 1 各WGの協議状況

## 自転車対策に関する施策

### 自転車対策

- ・まちかど駐輪場の設置  
  新京極公園  
  御池通 (南側歩道上 3箇所)
- ・駐輪場 走行規制マップの配布

### 自転車利用実態調査

- ・放置自転車台数, 走行禁止区域走行台数調査
- ・自転車利用者のアンケート調査

## 「人が主役のまちなか道路」に関する検討

### 「人が主役のまちなか道路」の検討

- ・地元, 行政, 民間団体等が連携した仕組みづくり
- ・細街路の通過交通の抑制, 景観形成など地域の特色に応じたまちなか道路の実現

## 今後の検討内容

モデル地区での試行など, 「人が主役のまちなか道路」の仕組みづくりについて検討を行う



# 1 各WGの協議状況

## 「人が主役のまちなか道路」について

### 取組の目的

歩行者と公共交通優先の「歩いて楽しいまち」の実現には、細街路等を生活道路として利用する地域住民や事業者が自らの「家の前の道」のあり方を議論し、地域で合意形成を図ることにより、これを道路管理者、交通管理者と協力しながら、通過交通の道路ではない、「人が主役のまちなか道路」として実現していく仕組みづくりが必要です。

歴史的都心地区及び隣接する周辺部において、モデル地区を選定し、実施検証を行い、課題の抽出とその解消策を検討し、仕組みの具体化を図ります。

「家の前の道」とは、「我が家の前にある道の一部分」だけでなく、ひとつの道(通り)として、地域全体への広がりも視野に入れたものです。

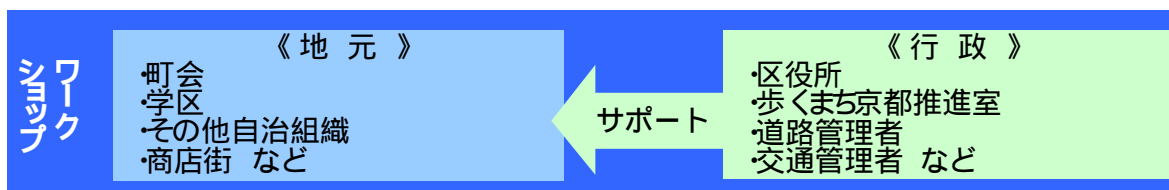
# 1 各WGの協議状況

## 検討の進め方

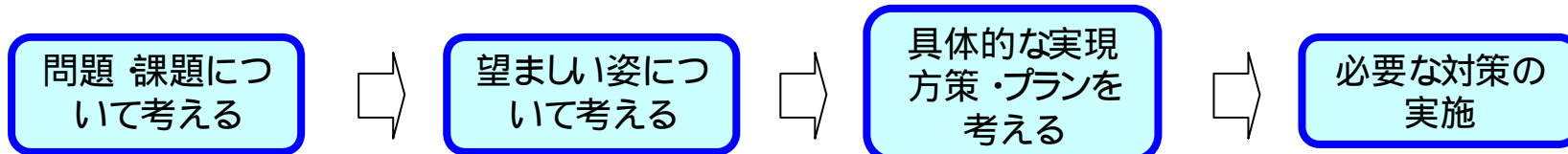
「家の前の道」でどんな問題・課題があるかを検討し、地域で共通認識を持ちます。例えば、通過交通が多くて危険、放置自転車で路肩が埋まっている、自転車の走行マナーが悪い、電線・電柱で景観が損なわれている、夜に人通りがなく暗くて危険、最近まちの賑わいが少ないなど、道に関わる様々な問題・課題を検討します。

また、通学路や小学校周辺が危険、交差点が問題、朝夕が問題、お年寄りが危ないなど、地区の特徴を踏まえた検討を行います。

地元と行政等が連携し、モデル地区毎にワークショップを立ち上げ、そこで検討します。ワークショップの具体的な構成や進め方は、地域の実情に応じて検討します。ワークショップの主役はあくまで地元ですが、区役所や歩くまち京都推進室は、行政制度や専門的内容についてサポートします。また、専門家の協力を得ることもできます。



## 検討のステップ



# 1 各WGの協議状況

## (3) 河原町通WG

河原町三条交差点の改良や、河原町通のあり方について検討を行っている。

今後は、河原町三条交差点のスクランブル化を具体化するとともに、そこを起点とした河原町通や三条通の今後のあり方、特に、京都の「お入り口」三条通における整備のあり方やまちづくりの方向性について検討を行う

京都の「お入り口」  
東海道五十三次の終点として数百年来、京の入口としての役割を果たしてきた場所

### 【河原町通WGの構成メンバー】

京都商店連盟中京東支部、商店街（河原町、三条小橋、パレット河原町、三条名店街、河原町蛸薬師）、京都市（歩くまち京都推進室）

### 【開催状況と主な協議内容】

- 第1回（平成20年 3月 31日）：河原町通の今後のあり方について協議
- 第2回（平成20年 6月 16日）：河原町三条交差点の歩車分離信号について協議
- 第3回（平成20年 11月 4日）：河原町三条交差点の歩車分離信号について協議
- 第4回（平成21年 3月 5日）：河原町三条交差点の歩車分離信号、  
京都の「お入り口」三条通について協議

# 1 各WGの協議状況

## 河原町通，三条通のあり方の検討

河原町三条交差点の改良に関する検討

- ・賑わいの創出
- ・放置自転車やタクシー車列の解消
- ・道路混雑の抑制 など

河原町通や三条通における歩いて楽しいまちの実現に関する検討

- ・三条通を京都の「お入り口」と位置づけてのまちづくり

## 今後の検討内容

- 河原町三条交差点のスクランブル化について具体的検討を行う
- 京都の「お入り口」として位置づけられる三条通の整備のあり方について検討を行う
- 河原町三条交差点を起点とした，河原町通の賑わいづくりについて検討を行う

# 1 各WGの協議状況

## (4) 物流WG

昨年度の社会実験で把握できた課題(歩道拡幅時の荷さばき空間の確保等)を踏まえ、今後の歴史的都心地区全体における荷さばきのあり方について検討を行っている。

今後は、11月中旬に実施した四条通の交通実態調査(荷さばき実態調査等)を分析し、荷さばきのあり方について検討を行う。

### 【物流WGの構成メンバー】

京都大学大学院工学研究科 山田准教授, 京都府トラック協会, ヤマト運輸, 佐川急便, 日本通運, 西濃運輸, 福山通運, 商店街(三条名店街, 寺町専門店会, 新京極商店街, 寺町京極商店街, 河原町蛸薬師, 京都錦市場, 四条繁栄会), 京都府警, 京都市(歩くまち京都推進室)

### 【開催状況と主な協議内容】

第1回(平成20年 8月25日): 歴史的都心地区における荷さばきのあり方について協議

# 1 各WGの協議状況

## 荷さばきのあり方などの検討

### 荷さばきのあり方の検討

- ・ルール化 (時間帯等)
- ・荷さばき場所の確保
- ・物流事業者と荷主との連携

### 物流実態調査

- ・路上荷さばき定点観測調査
- ・GPSによる車両観測調査

## 今後の検討内容

歴史的都心地区における荷さばきのあり方について具体的な検討を行う